

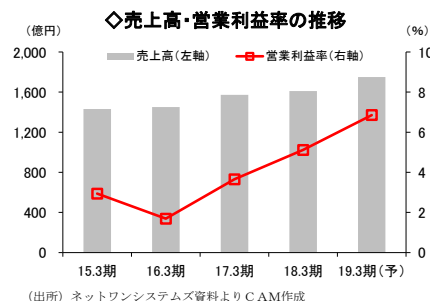
企業ニュース ネットワンシステムズ

(東証1部：7518) <https://www.netone.co.jp/>

作成者：村上大志

ネットワーク構築に強い独立系企業

1988年創業。ルータ・スイッチ等の機器販売から事業を開始し、現在はネットワークシステムとコンピューターシステムを統合したICT（情報通信技術）基盤全体を支援する。独立系企業であり、国内外の製品特徴を見極め、組み合わせることで、顧客ニーズに合わせた最適な提案ができることが強み。通信機器世界大手のシスコシステムズ（米）やソフトウェア世界大手のヴァイコムウェア（米）製品の取り扱いでは、国内トップクラスの実績を誇る。国内最大級の検証施設でシステムの検証や開発したサービス・製品の自社活用を行っている。トラブル対応や利活用ノウハウを提供することで「最適・高品質・高付加価値」を実現し、他社との差別化を図っている。18.3期のマーケット別売上高構成比はエンタープライズ（民間企業）31%、通信事業者19%、パブリック（官公庁・地方自治体）31%、パートナー事業19%。



通期会社計画の達成に期待

19.3期・第3四半期累計（4-12月）の連結業績は売上高が1,224億円、前年同期比14%増、営業利益が78億円、同101%増。通信事業者向けのクラウド基盤サービスや、中央省庁や自治体、電力・ガス等の社会インフラ企業向けのセキュリティ対策が好調だった。営業利益率は6.3%、同2.7ポイント改善。サービス事業の拡大や原価低減、生産性の改善が進んだ。受注残高は847億円、同18%増。パブリックやエンタープライズ向けが増加した。

19.3期の通期会社計画は売上高が1,750億円、前期比9%増、営業利益が120億円、同46%増。2018年9月の上方修正値から変更はなかった。事業環境は良好で、クラウド基盤サービスやセキュリティ対策への需要は強い状況が続いている。商品群別では、機器販売から利益率の高いサービス事業の比率が拡大している。ICT基盤全体をコーディネートする統合的なサービスの提供が増加することで、収益性の向上が見込めよう。

【株価動向・投資判断】

堅調な決算を受け株価は上昇した。市場の拡大が予想されるIoT分野において、高い成長性が評価できよう。

<7518 ネットワン 業績:日本基準>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

	売上高		営業利益		経常利益		当期利益		1株利益		1株配当	
	百万円 (伸び率)		百万円 (伸び率)		百万円 (伸び率)		百万円 (伸び率)		円		円	
17.3	157,236	(8)	5,747	(134)	5,701	(120)	3,822	(153)	45.2		30.00	
18.3	161,107	(2)	8,241	(43)	8,418	(48)	5,682	(49)	67.2		30.00	
19.3 予	175,000	(9)	12,000	(46)	12,000	(43)	8,000	(41)	94.5		記34.00	



[主要株価指標] (売買単位：100株)

株価 (2019/2/4)	2,526 円
昨年来高値 (高値日)	2,821 円 (18/10/1)
同 安値 (安値日)	1,445 円 (18/2/15)
予想 P E R (19.3 予)	26.7 倍
1株株主資本 (PBR算出用)	743.6 円
P B R	3.40 倍
予想配当利回り	1.35 %
(1株当たり配当金 34.00 円)	
R O E (18.3)	9.7 %
発行済み株式数	8,600 万株